

— 町長メッセージ —
町民の皆様へ

2023年2月6日、トルコ南東部で発生したマグニチュード7.8の地震やその後の大きな揺れで、トルコ、シリアの両国でこれまでに合わせて4万6千人以上の方が犠牲になっており、被災地では生活再建の目処が立たない中、住み慣れた地域を離れる人も相次いでいるとのこと。被災された方々に対し、謹んでお見舞いを申し上げます。

トルコと和歌山県は歴史的にも関係が深く、和歌山県ではいち早く義援金の募集が始まりました。そこで本町においても、この趣旨に賛同して湯浅町役場庁舎ほか2カ所に「2023トルコ南東部地震災害義援金」の募金箱を設置しています。皆様方には趣旨をご理解いただきご協力の程よろしく申し上げます。（8ページを参照ください。）

さて、新型コロナウイルス感染症に対する国の方針が大きく変わろうとしています。その一つとして、3

月13日以降マスク着用の考え方について、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることとなります。この3年でマスクの着用が当たり前のことになっていましたが、今回の転換を機にコロナ禍で生まれた新たな生活様式を取り入れつつ、コロナ前の生活を取り戻す契機になることと思います。

ところで、3月を迎え湯浅の春の風物詩といえば、シロウオ漁です。今月19日には、「紀州湯浅のシロウオまつり」が4年ぶりに開催されます。まだまだ肌寒さを感じる時季ではありますが、伝統的な四つ手網を使ったシロウオ漁に一足早い春の訪れを皆様感じていただきたいと思います。また、毎年好評をいただいていたシロウオ漁体験やおどりぐいなどが予定されていますので、多くの皆様楽しんでもらいたいと願っております。

(令和5年2月22日)

湯浅町長 上山章善



湯浅えき蔵図書館

YUASA EKIKURA LIBRARY

きてみて!

利用案内

- 開館時間：9時～21時
- 休館日：毎月月末の金曜日、年末年始
- お問合せ：湯浅町立図書館 Tel.62-2280



新種発見!

山と溪谷社

分類学がわかると、生きものはもっと面白い! 陸地・水辺での新種発見エピソードや、思いがけないきっかけで新種が発見されたエピソードを掲載し、未知の生物が発見され、新種として記載されるまでの過程を紹介する。



児童書
一般書

新着図書のご案内

いちごハウスのおくりもの

えがしらみちこ/世界文化ブックス

[対象:0~5歳]

ひまりの自慢は、じいじのいちごハウス。毎日、家族みんなでいちごの世話をしています。ある日、遊びにきた友達のかほちゃんが、ミツバチをこわがって…。いちごハウスの1年と、家族のきずなをみずみずしく描いた絵本。



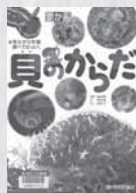
超絶技巧の西洋美術史

池上英洋/新星出版社

金を使わない「金」の表現、光を透過する一粒の涙、今にも動き出しそうな生命感…。「究極の絵画」を目指した画家たちの類まれな技巧の数々を、高画質のフルカラー図版で解説する。



- 『世界のヘンな研究』五十嵐杏南/中央公論新社
- 『どうする家康 1』木俣冬/NHK出版
- 『名探偵のままできて』小西マサテル/宝島社
- 『ノーマル・ピープル』サリー・ルーニー/早川書房 など



ずかん貝のからだ

清水洋美/技術評論社

[対象:小学3年生~一般]

貝の魅力は殻だけにあらず。からだにあり貝と呼ばれる生物の「貝殻」ではなく、やわらかい体である「軟体部」の多様性を、豊富な写真やイラストで紹介する。貝がどんな体を持ち、どんなふうにいるのかわかる図鑑。

- 『どうぶつどっちからよんでもたぶんぶた』高島純/絵本館
- 『めんはすごい!』柴田書店
- 『エツコさん』昼田弥子/アリス館
- 『いつか空の下で』堀直子/汐文社 など

*その他新着図書は、図書館ホームページの「新着資料検索」からご覧いただけます。
*3月4日(土)から通常通り開館しています。
*おはなし会(こども向け) 次回は3月11日(土)です!